

次第

- 令和6年度 第1回 富士見町地球温暖化対策推進委員会 -

1. 開 会

日時：令和6年4月19日（金）10：00～

2. 挨拶

場所：富士見町役場 3階会議室

3. 委嘱書の交付

4. 委員長の交代

5. 議 事

(1) 富士見町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の概要と策定スケジュール

(2) 提案事項（アンケート結果）と委員会方針について

- ・ エネルギー管理士によるエネルギー削減対策相談
- ・ 地球温暖化対策に関わる事業者からの専門的な知見をいただく
- ・ 多様な主体の参画を得ながら具体的なプロジェクトを生み出す計画へ
- ・ 分科会を設置し具体的な対策を検討

(3) その他

6. その他

7. 閉 会



- 地に足の着いた計画のテーマの説明（資料4ページ）
- アンケート結果の説明（資料5ページ）
- 分科会を設置し具体的な対策を検討（別紙資料）

○エネルギー管理士によるエネルギー削減対策相談（資料5ページ）

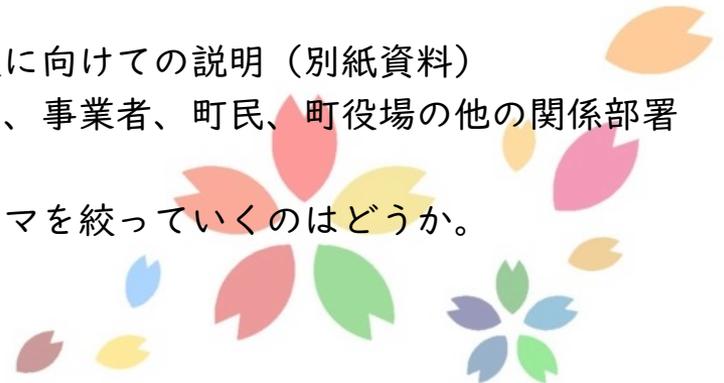
- ・中小企業を対象としたエネルギー管理士による相談会を開いてみてはどうか。これに係る負担は国や県の施策があれば提案してもらおう。

○地球温暖化対策に関わる事業者からの専門的な知見をいただく（資料5ページ）

- ・行政や事業者、専門家の意見が先行してしまい、町民が関われる提案が少ない。
- ・例えばゴミの完全分別についても、最終的に分別されたゴミがどのように処理されていくか、専門業者の意見を交えて、町民がどのような関わりを持てる対策を考えていかななくてはいけないのか等、まず町民参加型の計画にしたい。

○今後の富士見町における実行計画（ゼロカーボン戦略）の策定に向けての説明（別紙資料）

- ・具体的な事業が動く計画にするため、専門性（知恵）のある方、事業者、町民、町役場の他の関係部署等に参画いただく分科会を設置してみてはどうか。
その中で、いろいろな主体が連携し、横断的に協働できるテーマを絞っていくのはどうか。
- ・分科会のテーマイメージは別紙参照



○アンケート結果（実行計画）に対する意見

- ・ 町民の意識を高くしていくことが大切であるため、実行計画が何になるかわからないが、町民に実行プロセスを伝える方法も盛り込んではどうか。町民へのインストールがホームページだけではなかなか伝わらない。
- ・ 町民一体となり、同じ意識の中で実行計画を進めていかななくてはならいため、小さな事業から、目に見える事業を取り組んでみてはどうか。
- ・ モデル事業として、町営住宅の断熱改修はどうか。
- ・ PPAも事業所から個人まで、初期投資がなく電力会社よりも安価で購入できる点等、町民へ伝達ができるようにしたらどうか。
- ・ ほとんどの町民に関心を持ってもらうには、巻き込むのではなく、巻き込まれるよう実利が伴う仕組みが大切。例えば地域通貨を使って温暖化対策をするとポイントが貯まるなど。
- ・ バイオマスエネルギーについては森林整備で出た木材でも良いものは高く売ってしまうため、バイオマスで使える部分はC材D材になってしまう。安定した供給と費用対効果が問題だと思う。
- ・ 農業関係の方を参加させていくのであれば、農業が関われる実行計画の例を挙げてほしい。農業者は繁忙期や収穫時間等に左右されるので、分科会に参加する場合は時期・時間の検討もしてほしい。
- ・ 家庭部門へ温暖化対策を普及させるためには、イベントへの参加やパネル展示、パンフレットの作成配布により周知を試みる。
- ・ 富士見町の区域施策編を策定していく中で、必ず県や国とリンクしている計画でなければならない。委員会では共通認識として県の計画に沿って進めることで実効性も高まる。
- ・ 長期的に掛かる提案と、短期的にできる提案、さらに事業者が関係する提案と町民が関係する提案とで整理して分科会を計画してはどうか。

○アンケート結果（実行計画）に対する意見

- ・住民意識の向上醸成のため有識者を呼んだ講演会など、勉強する機会を作ってはどうか。
- ・町民へのメッセージは実践と共に伝わる部分があり、子供たちの学習の面で実践を取り入れてみてはどうか。例として子供たちが自分で教室の窓を断熱素材に改修するなど参加型により意識を高めることができる。
- ・国や県のデータは、人口や産業構成の按分比例によるため、実際に必要とされる目標値が出ているのかモニターになってもらう方を町民の中から選出したらどうか。いろいろな家族構成の方を選び協力してもらうことでまた違った面から意識向上に繋がる。

○提案して頂いた意見に対する今年度の取り組み方

- ◆提案していただいた意見を実行計画に活かせるのは分科会を発足するという意見でまとまった。
- ◆分科会を作るにあたり、テーマをいくつにするのか。
⇒委託費用に含まれるため当初は3テーマに絞りたい。分科会を重ねていく毎に形態を変化させても良い。
- ◆区域施策編の委託事業のサポート体制はどの程度まで協力いただけるのか。
⇒会議、分科会の参加、議事録の作成はお願いできる。
- ・テーマの決め方は、地産地消にすることで町民のためにメリットが出るようなことを考えたい。
- ・大分類として、バイオマスエネルギー・事業者・町民の3つはどうか。町民が動きたくくなるような仕組みも町民の目線で考えてもらうのがいいのでは。
- ・町で選ばれた議員の皆さんから意見をまとめてみては。

○提案して頂いた意見に対する今年度の取り組み方

- ・町民の方に一番関心があるものは電気代・ガス代など光熱費の高騰だと思うので、テーマとしては太陽光はどうか。
- ・富士見町は森林整備に力を入れている町であり、伐採と植林の均衡を保ち「CO2の吸収」面についてテーマにできないか。例としては農業の分野でバイオ炭（木に吸収させたCO2を炭にして農地に撒く）することで土壌改良と農業振興につなげる。

- ◆テーマは数多く意見の出たバイオマスエネルギー、住民参加型、事業者という大枠の中でそれぞれが取り組めそうなテーマを決めていくようにする。
- ◆委員全員がどこかの分科会に参加してもらい、委託業者や事務局、関係する町の課等も参加してもらう。
- ◆大枠（バイオマス分科会・住民分科会・事業者分科会）の中だけでは、どのようなテーマに自分が関係あるのか分かりづらいため細分化された表などを作り、アンケートにより分科会のメンバーを決める。
- ◆分科会に参加いただける事業者・町民の公募などの準備を行う。



- 委員会的一般傍聴や議事録公開では発言者の名前を伏せるのか、公開していくのか。
 - ⇒議会の中でも審議会委員会等の情報は原則公開となるため、議事録に関しては公開していくが、個人の名前については記載しない。また、一般傍聴については希望がある場合には受け付ける。



分科会検討イメージ

